

## ほととぎす

昔々あつたず。ある所に貧乏な兄弟が居だつたず。

ある日兄は、見つけて来た芋ひとつを、弟と食べようと大事に煮だずもな。芋が煮上がったので、

兄は弟には、うまくて太い方を分げでやつたず。そして、兄の自分は芋の両端の方ががんく、余りう

まくない所を食べながら仕事していたず。弟の方は遊びながら、も

らつた方を食べていたず。ところがその芋のうまいごと、うまいごと。弟はもつと食いたい、

腹いっぱい食いたいと思つたず。したども兄はこれしかくれな、兄はきつと俺よりいっぱい食つて

いるごつた、と勘ぐり出したず。

それに、こつたにうまいものを弟の俺にくれるくらいだから、兄はもつともつとうまい所を食つて

いるはずだと思つてしまつたず。そしたら弟は急に兄が憎くなり、兄の腹を割つて確かめたく

なつたず。そこで弟は兄を殺して腹を割つてみたず。そしたら何んと兄の腹には、が

んく(芋の端)しか入つていなかつたず。兄は弟の俺に良い所を食べさせ、自分は粗末なうまくない所

を食つていたのだつたず。それを見た弟は、自分の思い違いで兄を殺してしまつたことを悔

やんだずもな。

「兄ちゃん 悪がつた。許してけろ。兄ちゃん許してけろ。」と弟は泣いて泣いて、とうとう鳥になつてしまつたず。

そして鳥になつた弟は大空に飛び立ち

「兄ちゃん許してけろ。」  
「兄ちゃんあつちへ飛んで行つたか? こつちや飛んで行つたか?」

と兄の魂を捜して、鳴き叫んで飛んでいるのだず。

その鳥は「ほととぎす」と云つて、今でも「あちやとてた、こちやとてた」(あちや飛んで行つたが? こちや飛んで行つたか?)と、兄

の魂を捜し続けているのだず。

したすけ兄弟は仲良くし、弟は兄を立てるもんだず。そして弟は自分の方が腹強く(裕福に)なつても、兄を決してけなしたり、馬鹿にするもんでねえず。

どつとはれ



表紙 Bistro&Bar North40-40

vol. **112** July 2026

### contents 目次

- 04 野菜歳時記
- 05 ランチ情報
- 09 イベント情報
- 10 食育エッセイ
- 11 ビューティー・ショッピング情報
- 12 八戸三社大祭ガイド 2026
- 14 夏のグルメ情報
- 18 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 22 プレゼント & クーポン

ホームページ・インスタ公開中!

パソコン  
<http://www.webwell.jp>

ケイタイ  
<http://www.webwell.jp/mobile/>

インスタグラム  
@hachinohe.well



挿絵/久慈彩華

